

【開催趣旨】

漫画『ドラゴン桜』で知られる三田紀房（みた・のりふさ）氏は、本学政治経済学部の卒業生です。東大受験をモチーフにした代表作『ドラゴン桜』のほか、就職・転職を取り上げた『銀のアンカー』『エンゼルバンク』等、社会的テーマに対する斬新な切り口が氏の作品の魅力です。

今回は、「マンガと生きる力」というテーマで、ご講演いただきます。

【出演者プロフィール】



三田 紀房（みた・のりふさ）

漫画家 1958年岩手県生まれ

1981年明治大学政治経済学部卒業後、百貨店へ就職。1年で退社後、家業を手伝うも、27歳で漫画家として独立。2003年から連載した東大合格のノウハウ漫画『ドラゴン桜』が大ヒット。2005年に第29回講談社漫画賞（一般部門）を受賞し、これまで数々の作品を手がける。

【代表作】『クロカン』日本文芸社（週刊「漫画ゴラク」連載 1996-2002）

『ドラゴン桜』講談社（週刊「モーニング」連載 2003-2007）

『エンゼルバンクードラゴン桜外伝』講談社（週刊「モーニング」連載 2007-2010）



藤本由香里（ふじもと・ゆかり）

国際日本学部准教授 1959年生まれ

1983年東京大学教養学科卒業。2007年まで筑摩書房で編集者として務める傍ら、コミック・女性・社会風俗などの評論を続ける。2008年より現職。手塚治虫文化賞選考委員。

【主な著書】『私の居場所はどこにあるの？』（1998年 学陽書房）

『快樂電流』（1999年 河出書房新社）

『少女まんが魂』（2000年 白泉社）

『愛情評論』（2004年 文藝春秋）など

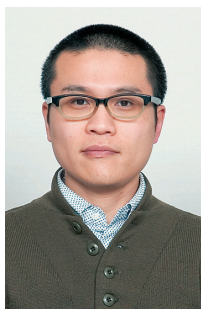


森川嘉一郎（もりかわ・かいちろう）

国際日本学部准教授 1971年生まれ

1997年早稲田大学大学院修了（建築学）。同大学理工学総合研究センター助手、客員講師を経て、2003年桑沢デザイン研究所特任教授。2004年ヴェネチア・ビエンナーレ第9回国際建築展日本館コミッションナー。2008年より現職。

【主な著書】『趣都の誕生 萌える都市アキハバラ』（2003年 幻冬舎）など



宮本 大人（みやもと・ひろひと）

国際日本学部准教授 1970年生まれ

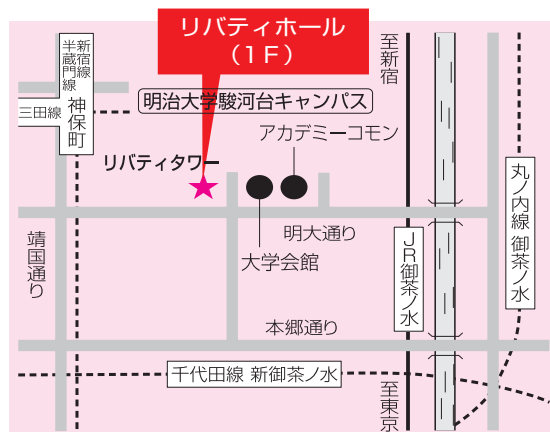
1995年筑波大学大学院修了（地域研究）。漫画史研究者。2005年北九州市立大学文学部比較文化学科准教授。2010年より現職。

【主な著書】

『マンガの居場所』（共著、2003年 NTT出版）

『誕生！「手塚治虫」マンガの神様を育てたバックグラウンド』（共著、1998年 朝日ソノラマ）

など



- JR 中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅
下車徒歩 5分
- 東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅
下車徒歩 5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅
下車徒歩 5分